



クマノミズキ [熊野水木]

5本の樹

落葉 / 中高木 / 木本植物 / 在来種



科名 ミズキ科 (APGⅢ)

特記 生長：速い

枝を車輪状に広げ、初夏に小さな白い花をたくさんつける。葉は、裏面が白色を帯び枝先に集まるようにつく。ミズキとよく似ているが、葉が対生する点が異なる。春先に枝を切ると樹液がしたたり落ちてくることから「水木」。三重県熊野で命名されたため「クマノ」がつく。



Memo

実は8月頃から色付き始め、11月初めまで熟す時期にばらつきがあり、継続的に散布される。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花	期						■						
果	実									■			
黄	葉											■	
施	肥	(早期に大木になるので施肥は控える)											
剪	定	■					■						■

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土壌	乾	○	○	湿
寒さ	強	○		弱
暑さ	強	○		弱
潮風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○				○	

ポイント

水気が多い溪谷などに自生し、生長が極めて速い自然の樹。コモンスペースでは、緑陰樹として配植できるが、将来の樹高も考慮するとよい。寒さに強いミズキに比べ、クマノミズキは西日本に多い。

剪定

自然樹形を生かしたいが、庭木としては大きくなり手に余る。一般の庭木としては、白い覆輪が入るバリエータ種や枝が珊瑚のように色づくサンゴミズキ（シラタマミズキの変種）がお薦め。

病虫害

樹幹に穴をあけるテッポウムシ（カミキリムシの幼虫）の被害に注意。アブラムシなどの排泄物が葉につくと二次的に「すす病」が誘発されるので一緒に対処する。

呼べる鳥



アオゲラ・[メジロ](#)・[コゲラ](#)

[キビタキ](#)・[オナガ](#)

呼べる蝶



[ルリシジミ](#)